

◇令和4年度 福岡県地域福祉活動職員連絡会主催研修◇

原点回帰

～受託事業の在り方から

社協のアイデンティティを考える～

1. 趣 旨

社会福祉協議会は、様々な地域課題、生活課題に対応する事業や活動を行っており、受託事業についてもその役割の一端を担っています。しかし、次々と地域福祉が制度化されるなか、社協本来の目的を踏まえ、社協らしさを発揮した受託事業が行えているでしょうか。また、受託事業が増大する中で、いつのまにか受託事業が「手段」ではなく、「目的」となった地域福祉活動の展開になっていませんか。

本来の社協らしい活動の展開には、『社協が目指す地域福祉』という原点に立ち返ってみることが手掛かりとなるかもしれません。

今回は、社協が住民や関係機関・団体とともに目指すもの、地域福祉の意味を学んだうえで、受託事業をどの様に捉え、どう活用していけば社協らしい活動にすることが出来るのか、社協にとっての受託事業の在り方等について、ワーカー同士で改めて考える場として、本研修会を開催します。

2. と き 令和4年10月21日（金） 10:30～17:00（受付：10:00～）

3. ところ リファレンス駅東ビル 会議室V-2

4. 定 員 30名程度

5. 内 容（タイムスケジュール）

時 間	内 容
10:30～10:40	開会・オリエンテーション
10:40～12:00（80分）	基調講演 「社協が目指す地域福祉とは ～カギを握るのは、住民主体と行政とのパートナーシップ!～」 講師：阪南市社会福祉協議会 事務局次長 猪俣 健一氏
12:00～12:45（45分）	昼休憩

12:45～14:05 (80分)	<p>パネルディスカッション</p> <p>「受託事業の在り方～私が考える受託事業～」</p> <p>内容：受託事業のなかで認識している課題や目標、社協らしい受託事業の在り方について、それぞれの経験・考えを交えてお話しいただきます。</p> <p>パネラー：</p> <p>糸島市社会福祉協議会 事務局長 山崎 数彦 氏</p> <p>広川町社会福祉協議会 地域福祉係長 江口 信也 氏</p> <p>大川市社会福祉協議会 地域福祉係長 野尻 裕太 氏</p> <p>コーディネーター：</p> <p>阪南市社会福祉協議会 事務局次長 猪俣 健一 氏</p>
14:05～14:15 (10分)	休憩
14:15～15:45 (90分)	<p>グループワーク</p> <p>「明日へのアクション！～自分の目指す理想像を語ろう～」</p> <p>内容：社協が目指す地域福祉の原点・理想像とは何かをグループで語り合い、受託事業における自分の現在地を振り返りながら、今後必要な地域福祉活動へのアクションを模索していきます。</p>
15:45～16:45 (60分)	全体共有・総評
16:45～17:00 (15分)	質疑応答・閉会

6. 申込方法

参加を希望される方は、令和4年10月6日(木)まで
に右記 QR コードから Google フォームにてお申込みください。



<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeWva-LrhwEwYIM4NxkZbP5D76Kw14hz7BTRyqx7K7in3us8g/viewform>

7. 申込・問合せ先

苅田町社会福祉協議会 永松

☎ 093-434-3641 ☎ 093-434-4343

✉ y-nagamatsu@kanda-shakyo.net

東峰村社会福祉協議会 中島

☎ 0946-74-2012 ☎ 0946-74-2666

✉ shakyo@vill.toho.fukuoka.jp